

2.1.4 アート・マネジメント講座

『メセナ白書1993』によれば、芸術団体の中に「企業に助成要請をしたいが、要請方法がわからない」という意見がありました。特定公益増進法人になり、企業側の支援はしやすくなりますが、芸術団体側も企業に対して効果的なプレゼンテーションの方法を身につける必要があります。企業のメセナ担当者を講師にプレゼンテーション方法を研究する講座で、94年度に引き続き実施します。

2.1.5 事業共催

他の団体の活動で企業メセナの啓発・普及に役立つものがあれば共催で実施してまいります。

2.2 情報収集・仲介事業

2.2.1 メセナ誌

現行の32頁から40頁に増頁し内容充実を図ります。また、助成選考委員会で認定した芸術文化活動はメセナ誌を通じて公表し、支援を広く募ります。

2.2.2 ニュースレター

会員企業に対する機関誌です。94年度を踏襲してまいります。

2.3 調査・研究事業

2.3.1 メセナ白書

『メセナ白書1994』は各企業のメセナ活動の実施状況に加え、地方自治体を対象に調査を行い地方自治体と企業メセナの関係性を明らかにしましたが、95年版では「世界のメセナ」を特集してまいります。なお、発行は9月上旬の予定です。

2.4 顕彰事業

2.4.1 メセナ大賞

91年度からスタートしたメセナ大賞は4年目を機に審査委員や入賞件数、賞の名称等の再検討を行い、より多くの企業・団体が応募できるよう改善を図りましたが、95年度は前年度を踏襲してまいります。

2.5 国際交流事業

2.5.1 国際メセナ会議'95

1995年5月22～24日に当協議会設立5周年を記念して「国際メセナ会議」を開催いたします。

2.6 助成事業

企業と協力して、芸術文化活動への助成を行ってまいります。そのための助成選考委員会は年6回開催し、芸術団体・個人から申請された活動を審査し助成認定活動を選考します。この助成認定活動への支援が免税の対象となります。

2.7 中期構想の具体化

前述の中期構想を具体化するため、1995年度は

- ① 地方メセナ組織の会議を下期に開催し、ネットワーク作りに着手します。
- ② 地方のメセナ組織結成の動きを支援します。
- ③ 経営者セミナーにメセナをテーマとする時間の新設を働き掛けます。
- ④ メセナメンバーズクラブ（仮称）の具体的検討に入ります

II. 1995年度事業計画並びに収支予算案

1995年度の事業は 5月22～24日に開催いたします国際メセナ会議を最重要事業として以下の計画で取り組んでまいります。

1. 1995年度収入計画

1.1 会費収入

1995年 3月 9日現在、正会員は173社464口、準会員42社46口となっております。1995年度の予算編成上の会員獲得目標を一応、正会員24口合計 487口、準会員 4口合計50口とし、会費収入合計額12,765万円を見込みました。

1.2 事業収入

メセナ誌の売上収入 130万円、メセナ誌広告収入 180万円、セミナー等の参加費収入 50万円、メセナ白書売上収入 150万円と見込んで事業費収入計 510万円としました。

1.3 雑収入

受取利息などで、120万円を見込んでおります。

1.4 助成金収入

当協議会を經由して支援する助成金を20,524万円と見込みました。

1.5 記念事業収入

当協議会設立5周年記念国際メセナ会議の開催にあたり、参加費、助成金、協賛金の収入を 6,500万円と見込みました。

以上1995年度単年度の収入合計は404,190万円となります。

2. 事業計画

2.1 啓発・普及事業

2.1.1 会員懇話会

これまでと同様に通常総会のあと、会員の親睦と情報交換の場として年 2回開催します。

2.1.2 定例会

会員企業とアーティストや文化団体との相互理解の場とする定例会は94年度と同様に年 4回程度企画してまいります。

2.1.3 企業メセナセミナー

会員企業のメセナ担当者を対象に、企業メセナの実務を修得することを目的に行っている企業メセナセミナーは94年度を基本的に踏襲してまいります。

①企業メセナセミナー入門編

異動等により、初めてメセナ部門の担当になった方々を対象にメセナ活動の基本的な考え方を多方面から理解していただきます。

②ケーススタディ・シリーズ

会員企業のメセナ活動を相互に紹介するケーススタディ。メセナ担当者がかかえる諸問題について情報交換を行います。

③アートを学ぶ

1995年度は芸術の各分野についてより深く理解する場とし、コンテンポラリーアート・ネットワークと共催で演劇、音楽の2分野についての研修時間を増やして実施します。